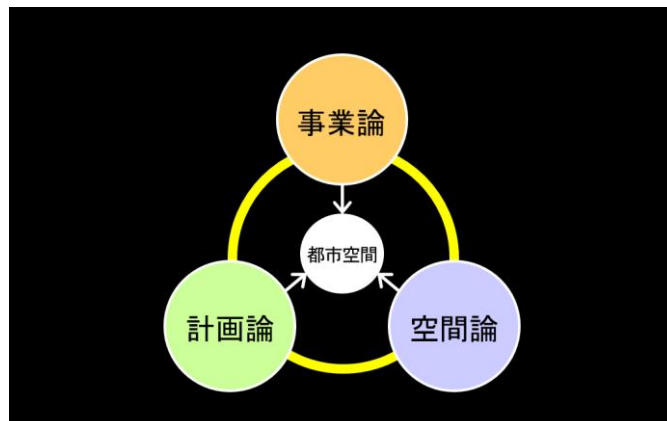
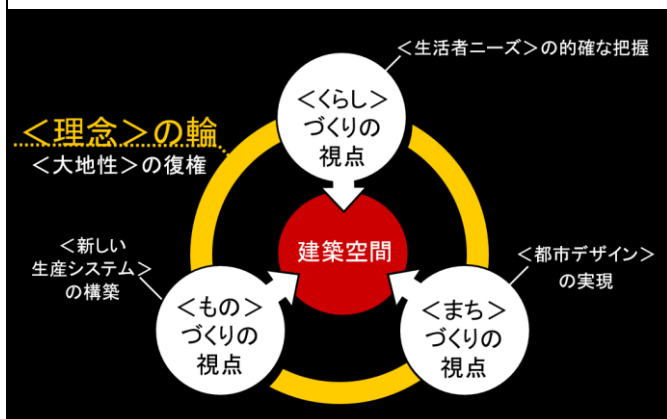


# 今こそ私たち建築人は、専門家の立場から わが国の“集住空間”のあり様を問い直そう

建築家 藤本 昌也

## 大地派建築家としての基本的スタンス(理念と作法)



年代	<空間づくり>の目標	<空間づくり>の成果
60	<ul style="list-style-type: none"> <li>●“都市化時代”の建築のあり様を問う (3大住宅政策の推進—公営・公団・公社)</li> <li>●“高層集合”の可能性に挑戦 (特殊解としての妥当性が問われる)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●東京世界デザイン会議開催(60年) (CIAM解散後の建築家世代の登場)</li> <li>●広島市営基町高層アパート(68~78年) (原爆スラムの解消、3008戸、8F~20F)</li> </ul>
70	<ul style="list-style-type: none"> <li>●20世紀の“近代主義”を問い直す (73年住宅白書一量から質へ転換)</li> <li>●“低層集合”の可能性に挑戦 (〈団地〉から〈街〉へ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●“日本土人会”を結成(73~74年) (伝統的集落を視察・調査)</li> <li>●茨城県営六番池団地(74~75年) (多様な“低層集合”時代の幕開け)</li> </ul>
80	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新戸建住宅地づくりに挑戦 (「HOPE計画」施策の推進 83年~90年代半ば)</li> <li>●もの(木)づくりのあり方への挑戦 (家づくり'85提案競技入賞)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●林野庁の“国産材ハウス”の展示(85年) (日本の木で、日本の技で、日本の家をつくる)</li> <li>●岩手県遠野市営鶯崎団地(87~98年) (83年HOPE計画施策の全国展開)</li> </ul>
90	<ul style="list-style-type: none"> <li>●居住者参加型まちづくりに挑戦 (コープ推進協への参加)</li> <li>●都市デザインの実践に挑戦 (マスターアーキテクトの役割を担う)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●多摩NT.ヴェルデ秋葉台団地(88年) (東京都住宅供給公社事業。115戸)</li> <li>●キャナルタウン兵庫(住都公団 92~97年)</li> <li>●幕張ベイタウン(千葉県企業庁 92~012年)</li> <li>●多摩NT.21住区(東京都 94~99年)</li> </ul>
00 ~ 20	<ul style="list-style-type: none"> <li>●21世紀の“都市再生”のあり様を問う (中心市街地活性化法の制定 98年)</li> <li>●「住生活基本法」の施行(006年) (民間主導の時代の始まり)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●山口県宇部市のまち中再生の実現 (97~015年) (市施行の都市再生区画整理事業手法の採用)</li> <li>●茨城県つくば市田園都市構想の実現 (001~015年) (公団施行の区画整理集約換地手法の採用)</li> </ul>